

えさきとうだい 江崎灯台

所在地：淡路市 野島江崎



江崎灯台

江崎灯台は、慶応3年（1867）に、徳川幕府が兵庫開港の備えとして作らせた灯台です。「日本の灯台の父」と呼ばれるイギリス人技師のリチャード・ヘンリー・ブラントンが設計し、日本で8番目に建設された洋式灯台で、石造りの灯台としては日本で3番目に古い灯台です。

現在も、石造りの灯台や旧宿舎は、明治4年（1871）4月27日に初点灯した当時の姿を良く残しています。

明石海峡は、漁船を始め、様々な船舶が行き交う航路です。江崎灯台は、明治時代から明石海峡を行き交う船舶の安全を守っています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
 - ✓ 歴史がつくりだす景観
 - 生活・文化がつくりだす景観
 - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから、県道31号線を北上、車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図